

新たなマテリアリティ(重要課題)の設定と2024年度目標設定

社会環境の変化に伴い、企業を取り巻く状況やニーズも急速に変化しています。私たちは、このような状況に柔軟に対応し、持続可能な成長を実現するため、マテリアリティ(重要課題)を特定しました。現在の社会的ニーズに即した課題と当社が重点的に取り組むべき目標を設定し、企業として目指すべき姿に向けて着実に前進していきます。

2024年度の目標設定では、持続可能な社会の実現に向けて、マテリアリティに対してリスクと機会を分析・把握し、社員一人ひとりが主体的に取り組むことができるよう、活動方針・活動内容を策定しました。毎年度、進捗状況を確認し、定期的に見直しを行い活動を推進していきます。

岩田地崎建設のマテリアリティ／SDGs目標および指標(KPI)

2024年4月1日～

	重要課題（マテリアリティ）	リスク	機 会	活動方針	活動内容	2024年度指標（KPI）		2024年度目標
E Environment	地球環境保全への取り組み     	●取り組みの遅れによる信頼の低下、競争力の低下 ●規制対応コストの増大 ●温暖化に伴う労働環境の悪化 ●自然災害の激甚化、頻発化	●環境関連、再生可能エネルギー関連の建設需要の増加 ●先駆的な取り組みによる企業価値の向上、ビジネスチャンスの拡大	カーボンニュートラルの実現	低炭素型燃料／資材の利用推進 省エネルギー／再生可能エネルギーの推進	取り組みの試行、展開 具体的な数値目標の設定		
					事業活動におけるCO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量削減率（2023年度比） スコープ1+2（※1）[自社排出量] スコープ3 [自社活動関連の他者排出量] ●2030年までの目標(KGI) スコープ1+2:▲42 % スコープ3:▲25 % を目指す	CO ₂ 排出量削減率（2023年度比） スコープ1+2：▲ 6 % スコープ3：▲ 3.5 %	
				循環型社会の実現	混合廃棄物の発生抑制	混合廃棄物排出率	3.0 %以下	
					再生材利用の推進	取り組みの推進		
				自然と共生する社会の実現	緑の水田プロジェクトの推進 緑の森林プロジェクトの推進	プロジェクトの継続、発展		
S Social	現場力の強化と施工品質の向上    	●施工不良に伴う対策コストの増大 ●信頼の低下 ●受注機会の減少	●顧客満足度の向上 ●受注機会の拡大 ●生産性向上による競争優位性確保	施工品質の追求	施工支援体制の拡充 社内検査体制の強化	重大な品質不具合件数	0件	
				具体的な数値目標の設定（品質）				
				生産性の向上	スマート技術（ICT、DX等）の導入推進	具体的な数値目標の設定（生産性）		
	働きがいのある職場環境の実現     	●エンゲージメントの低下、優秀な人材の流出 ●生産性、競争力の低下 ●企業イメージ、信頼の低下	●エンゲージメントの向上、優秀な人材の確保 ●施工能力の向上、組織力の強化	社員のエンゲージメントの向上	ワークライフバランスの推進 エンゲージメントサーベイの実施 健康経営の推進	社員エンゲージメントサーベイ（※3）の実施		
					社員教育の拡充	健康経営優良法人の認定（継続）		
				働き方改革の推進	4週8閉所の実現に向けた環境整備	技術者教育の強化 具体的な数値目標の設定（資格保有率）		
	豊かな暮らしを支えるまちづくり       	●企業イメージ、信頼の低下 ●担い手不足の加速化 ●災害時復旧・復興の遅れ ●対策コストの増大	●企業価値の向上 ●地域イベント参画によるエンゲージメントの向上 ●インフラ長寿命化、防災関連の需要拡大 ●地域連携による事業機会の創出、事業領域の拡大	地域社会への貢献	地域イベントへの積極的参加	プロジェクトの継続、発展		
				学校教育分野における活動	インターンシップの取り組みの深化 職場体験学習等の開催・協力	職場体験学習等の開催・協力回数	5件	
				防災・減災への対応	防災協定の締結 復旧・復興への積極的協力	災害復旧工事依頼に対する対応	100%	
				パートナーシップの推進	産学官連携プロジェクトの推進	プロジェクトの継続・発展		
				国際協力の推進	グローバルな視点における持続可能な社会実現のための海外支援	海外におけるインフラ整備事業への参画件数	1件	
G Governance	企業倫理の徹底 	●事業活動の中断・停止 ●企業イメージ、信頼の低下 ●受注機会、採用機会の喪失	●信頼の確保 ●経営基盤の強化	コンプライアンスの徹底	コンプライアンス研修の強化 法令違反防止体制の構築	重大な法令違反件数	0件	
				情報セキュリティの強化	セキュリティに関しての情報発信、管理室での常時監視	重大な情報セキュリティ事故件数	0件	

※1 スコープ1…自社の燃料燃焼等による直接排出量，スコープ2…他者供給の電気・熱等使用に伴う間接排出量，スコープ3…自社の活動に関連する他者の排出量

※2 度数率＝ $\frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{延べ実労働時間数}} \times 1,000,000$

※3 エンゲージメントサーベイ…社員のエンゲージメントを定量化して測定するための調査